

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》

《基本目標(1) 鹿兒島の多様で豊かな自然を保全します》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		平成28年度 目標値に対する 達成状況	関係課
			27年度	28年度	33年度		
10	森林蓄積量	千㎡	6,286	6,500	7,000	96.7%	生産流通課

※森林蓄積量＝森林を構成する立木の幹の部分の体積で、森林量の指標の一つ

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	27年度実績	関係課
(1) 鹿兒島の多様で豊かな自然を保全します	生物多様性地域戦略推進事業	平成26年3月に策定した生物多様性地域戦略の進行管理を行うと共に、生物多様性の保全等に関する事業を行う。	○「かごしま自然百選」ガイドブックの発行 ○国際生物多様性の日(5月22日)を契機とした市公共施設等と連携した生物多様性実感イベント等の開催 ○市民活動団体等との協働による生物多様性保全活動の推進 ○生物多様性向上推進委員会(庁内)の設置及び開催	環境保全課
	自然保護事業	自然公園法に基づく許可申請等の受理及び県知事への送付業務	自然公園法に基づく許可申請の受理等を行った。	環境保全課
	自然保護事業	生態系に影響を及ぼすマングースが喜入地域で発見されていることから、県が実施している調査等への協力を行う。	県と連携し、マングースの情報収集や広報啓発を行った。	環境保全課
	国立公園桜島地区美化協会負担金	桜島地区の自然環境を清潔に保持するため、美化協会への負担金の支出	桜島の袴腰地区の美化清掃を実施した。	観光振興課
	間伐実施事業	森林のもつ水源かん養機能などの高度発揮を図るため、森林組合等が行う間伐に要する経費に対し助成する。	間伐実施経費に対し助成した。 〔間伐面積〕33ha 〔補助金額〕1,969千円	生産流通課
	万之瀬川流域森林造成対策事業	万之瀬川流域森林において、水源かん養機能の高度発揮を図るため、森林組合等が行う間伐等に要する経費に対し助成する。	万之瀬川流域における間伐実施経費に対し助成した。 〔間伐面積〕4ha 〔補助金額〕917千円	生産流通課
	甲突川・稲荷川流域水源の森整備事業	甲突川及び稲荷川流域森林において、水源かん養機能の高度発揮を図るため、森林組合等が行う間伐等に要する経費に対し助成する。	甲突川、稲荷川流域における間伐実施経費に対し助成した。 〔間伐面積〕17ha 〔補助金額〕2,542千円	生産流通課
	市有林・分収林の保育作業	市有林・分収林において、水源かん養機能などの高度発揮を図るため、間伐等を行なう。	市有林において間伐を行った。 〔間伐面積〕24.00ha 〔委託料〕16,880千円	生産流通課
	造林推進事業	造林を推進するため、造林用苗木の購入経費に対し助成する。	造林用苗木の購入経費に対し助成した。 〔苗木本数〕5,600本 〔補助金額〕269千円	生産流通課
	市民と協働の森林づくり事業	企業やボランティア団体が実施する森林活動に対して支援を行い、市民活動を中心に森林整備を図る。	○森林情報等をホームページに掲出し、森林所有者と企業、ボランティア団体との協定締結を推進した。 ○市民を対象にした森林・林業体験イベントを行った。 〔開催日〕7/19 〔参加者〕64名	生産流通課
特別天然記念物・北限のメヒルギ再生整備活用事業	国指定特別天然記念物「喜入のリュウキュウコウガイ産地」の保存管理	前年度に引き続き、メヒルギ再生を図るため、生息地の環境改善に係る各種取組を進めた。 ・海水導水 ・水質、底質検査 ・土砂、芝の除去 ・土壌改良 ・検討委員会開催(2回) ・文化庁調査官招聘 等	文化財課	

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》

《基本目標(2) 自然とふれあう場や機会を確保します》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		平成28年度 目標値に対する 達成状況	関係課
			27年度	28年度	33年度		
11	自然遊歩道	箇所	7	8	9	87.5%	環境保全課
12	グリーン・ツーリズム 登録団体数	団体	42	38	43	達成	グリーンツー リズム推進課

【施策の実施状況】

基本 目標	事務・事業名	事務・事業の概要	27年度実績	関係課
(2) 自然とふれあう場や機会を確保します	自然遊歩道の利用促進	自然遊歩道(7ヶ所9コース)の維持管理及び広報啓発	自然遊歩道(7ヶ所9コース)の維持管理及び広報啓発を継続し、自然遊歩道の新規指定の調査を行った。	環境保全課
	自然保護事業	赤水採石場跡地の活用	赤水採石場跡地の活用として植樹を行った。	環境保全課
	【27拡】かごしま環境未来館管理運営事業(甲突川リバーフェスティバルの開催)	甲突川を活用した参加体験型のイベントを開催することにより、川をはじめとする環境問題への関心を広く喚起する。 ＜拡充内容＞ 27年度：指定管理者の提案により、新たなイベントなどを実施	甲突川を活用した参加体験型のイベントを開催した。 ・甲突川リバーフェスティバル 【開催日】7/25、26	環境政策課
	【27拡】桜島・錦江湾ジオパーク推進事業	桜島・錦江湾におけるジオパーク活動を地域一体となって推進する。	世界ジオパーク認定を見据え、ジオパーク活動を推進した。 ○ジオに関する活動の展開(拡) ・ジオツアー、ジオ講座の開催 ・認定ジオガイド養成 ・灰フェスの開催 など ○情報発信(拡) ・ホームページの作成 ・ポスター等の作成 など	ジオパーク推進室
	【27拡】グリーン・ツーリズム推進事業	子どもたちに農作業体験を通して、農業に関する関心を高め、都市と農村との交流を深める。 ＜拡充内容＞ 27年度：活動団体への支援の拡充、農家民泊体験ツアー、農家民泊や農産物直売所運営に関する専門研修の実施など 28年度：農家民泊・民宿ガイドの作成、グリーン・ツーリズムHPのリニューアル、案内板の増設 □	農作業体験等を通じて都市と農村との交流を促進した。 ○農作業体験学習の支援 【実施地域】9地区 ○棚田保全支援 【補助】30万円×1団体	グリーンツーリズム推進課
	【27拡】観光農業公園交流体験事業	農業・自然・調理・環境の各種体験プログラムを実施するとともに、来園者同士の交流を促進する。	○園内外の自然を活用した自然体験プログラムのほか各種体験プログラムを実施した。 【体験者数】 ・農業：17,843人 ・自然：10,724人 ・調理：7,899人 ・環境：1,592人 ○体験用農地の配水改善工事等を実施(拡)	グリーンツーリズム推進課
	市民農園運営補助事業	消費者に農作業体験を通じて、農業と農村への理解と認識を深めてもらうとともに、地域の活性化を図る。	○市民農園管理組合への助成：7農園・492区画 ○入園式の開催 ○栽培講習会の開催(年2回) ○圃場品評会の開催など	農政総務課
市民農園の管理運営	市民への農園の貸出	○貸出区画数：820区画 ・家族用区画：766区画 ・団体用区画：44区画 ・車いす用区画：10区画	都市農業センター	

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》

《基本目標(2) 自然とふれあう場や機会を確保します》

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	27年度実績	関係課
(2) 自然とふれあう場や機会を確保します	自然観察会の開催	ホテルを見る夕べの開催(かごしま健康の森公園の指定管理者である(公財)鹿児島市公園公社が実施する。)	〔開催日〕5/16 〔参加数〕2,200人	公園緑化課
	海水浴場管理運営	磯海水浴場、生見海水浴場、西道海水浴場、レインボービーチの開設	〔開設期間〕 ・磯海水浴場 : 7/10~8/31 ・生見海水浴場 : 7/18~8/31 ・西道海水浴場 : 7/18~8/31 ・レインボービーチ : 7/18~8/31	スポーツ課
	各学校における農業体験学習の実施	総合的な学習の時間等で、米や野菜、果物栽培を通じた食と農を考える体験学習を実施する。	総合的な学習の時間等で、体験を伴った農業体験学習等を学校の実態に応じて取り入れるよう学校訪問や研修会等で指導した。	学校教育課
	青少年ふれあい交流・体験活動	小学校4~6年生を対象に、少年自然の家、本名川等で宿泊を伴う体験活動を実施する。	○少年自然の家、本名川で体験活動を実施 〔開催日〕7/27~28(1泊2日) 〔参加者数〕小学生28人・ジュニアリーダー6人を募集	青少年課
	夏のファミリーキャンプ	親子で協力してキャンプ、野外炊飯、天体観望等の活動を通して、家族の絆を深めるとともに自然環境への理解を深め、野外活動等への興味、関心を高める。	〔開催日〕7/25~26(1泊2日) 〔参加者数〕20家族(予定) ※台風12号接近のため中止	少年自然の家
	ワイルドキッズ林間学舎 冬の自立キャンプ	野外活動やサツマイモ収穫体験、宿泊体験等を行い、自然環境への興味、関心や自立心を高める。	○ワイルドキッズ(小学1・2・3年生) 〔開催日〕10/17~18(1泊2日)〔参加者数〕118名 ○冬の自立キャンプ(小学4年~中校生) 〔開催日〕H28.2/6~7(1泊2日)〔参加者数〕58名	少年自然の家
	夏の親子クラフト教室	自然の木を使って家族で創作する活動を行い、自然環境への理解を深める。	〔開催日〕8/1 〔参加者数〕22家族	少年自然の家

《基本方針 3 恵み豊かななかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》

《基本目標(3) 生態系に配慮したまちづくりを進めます》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		平成28年度 目標値に対する 達成状況	関係課
			27年度	28年度	33年度		
13	市街化区域の緑地割合	%	7.5	—	7.7	—	公園緑化課

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	27年度実績	関係課
(3) 生態系に 配慮した まちづく りを進め ます	準用河川改修事業	災害に強いまちづくりを進めるとともに、環境に配慮した河川の整備を行う。	治水対策を講ずるにあたり、魚巣ブロックや袋詰玉石を設置するなど、環境に配慮した工法の採用に努めた。 (永吉川、山之田川)	河川港湾課 谷山建設課 道路建設課
	【27拡】城山公園 自然の森再生事業	市街地の中心に位置する城山公園では、降雨による斜面崩壊や外来種の侵入による自然林の減少など、植物を巡る環境に変化が生じていることから、指定文化財の有する普遍的価値を尊重しながら、貴重な緑を次世代へ継承する。	城山公園保全計画に基づき、園路整備工事、モウソウチクやハヤトウリ等の外来種駆除を実施(拡)。 〔園路整備工事〕 園路100m、展望所76㎡ 〔外来種駆除〕 モウソウチク503本ほか	公園緑化課

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》

《基本目標(4) 環境に配慮した農林水産業を進めます》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		平成28年度 目標値に対する 達成状況	関係課
			27年度	28年度	33年度		
14	エコファーマーの 認定件数	件	108	119	130	90.8%	生産流通課

※エコファーマー=県知事が認定するもので、土づくり、化学肥料の使用低減、  
化学合成農薬の使用低減に一体的に取り組む、環境にやさしい農業実践者

【施策の実施状況】

基本 目標	事務・事業名	事務・事業の概要	27年度実績	関係課
(4) 環境に 配慮した 農林水産 業を進め ます	環境保全型農業推進 事業	防除薬剤の使用軽減に努め、環 境に配慮した農業を進めるた め、防除資材の導入経費など に対し助成する。	○減農薬栽培推進事業：防虫資材等の導入に対する助成 〔補助金〕3,675千円  ○環境保全型農業直接支援事業：環境保全効果の高い営 農活動を行う農業者に対する直接支援 〔交付金〕1,129千円	生産流通課
	環境保全型畜産推進 事業	家畜ふん尿処理施設（堆肥舎） 等の整備を進め、畜産による環 境汚染を未然に防ぎ、良質の堆 肥を耕地に還元することにより 土づくりに資する。	家畜ふん尿処理施設等の整備を進めた。 〔整備数〕 ・堆肥者：1棟 ・堆肥処理機械：1台	生産流通課
	放養量、給餌量の適 正化の指導・啓発	県の魚類養殖指導指針に基づい て、適正化が図られるよう指導を行 う。	県の魚類養殖指導指針に基づいて、適正化が図られるよ う指導を行った。	生産流通課
	【27拡】農林水産 物PR事業	各種イベント等により、市民に 豊富な市内産の特産農林水産物 への理解を深めてもらい、地産 地消の推進を図る。 (実施主体：市農産物等流通促 進協議会)	・市内産農産物旬のキャンペーン：3回 ・食の産地交流会：2回 ・旬のクッキング教室：2回 ・暮れの市：1回 ・茶手もみ実演：4回（拡） ・松元茶PRキャンペーン：4回（拡）	生産流通課
	遊休農地解消等対策 事業	遊休農地の現状把握に努めると ともに、遊休農地の発生防止や 解消に努める。	○情報の収集・発信及び解消策等の検討 ・遊休農地バンクの運営等  ○遊休農地の再生利用 ・よみがえれ農地事業 (遊休農地の開墾経費助成0.7ha)  ○遊休農地の発生防止 ・農地流動化対策事業（農地の貸借に対する助成 15.1ha)	農政総務課